

平成23年度財務計算書類の概要

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容及び支払資金の収支のてん末を明らかにしたものである。

本学の財産に関する特徴的な事項としては、資産運用を行っていたダイワ・グローバル債券ファンドとSMAを解約したこと、新キャンパス・マスタープランに基づく学園整備計画の第Ⅰ期である生命・環境科学部棟、麻布獣医学園アリーナ及び特別高圧変電所を計画どおり竣工したことなどである。

また、資産運用の解約に伴い、平成24年2月の理事会・評議員会で予算の補正を行い、当初予算総額109億20百万円に対し、補正後の予算総額を172億69百万円とした。

なお、この決算において、平成24年度への次年度繰越支払資金は、31億65百万円となった。

(1) 収入の部の概要

収入全体では、平成23年度予算を達成する決算額となり、特に学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産売却収入及び雑収入などは、予算を上回る結果となった。

収入増となった主な事項は、国庫補助金収入において東日本大震災に伴う学費減免に対する特別補助及び後述の平成22年度大学改革推進等補助金を平成23年度の事業として収入したことなどである。

一方、予算を達成できなかった主な事項は、資産運用収入の受取利息・配当金収入で、ダイワ・グローバル債券ファンドを解約したことによる分配金の減、及び事業収入の附属事業収入である動物病院の診療収入で、小動物の診療件数が伸び悩んだためである。

(2) 支出の部の概要

決算において、教育研究用機器備品支出及び大科目の設備関係支出が予算超過となったので、学校法人麻布獣医学園経理規程第55条に基づき、予備費を使用した。

予算超過した設備関係支出以外の科目では、予算内で執行することができた。特に、教育研究経費支出、管理経費支出及び施設関係支出においては、各部署における経費節減意識の高揚及び節電対策などから経費の節約につながり、予算を下回る結果となった。

支出の主な事項は、生命・環境科学部棟、麻布獣医学園アリーナ及び特別高圧変電所に係る建設費並びに教育研究用機器備品費等の最終支払額17億90百万円を計画どおり支払ったこと、ダイワ・グローバル債券ファンド及びSMAを解約したことによる資金移動に係る繰入支出を行ったこと、平成22年度大学改革推進等補助金(口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備)に係る事業で、文部科学省からの交付決定が大幅に遅延し、今年度の事業として執行したことなどである。この補助事業の執行に伴い教育研究用機器備品支出に7百万円の予備費を使用した。

以下、資金収支計算書の大科目の主な内容は、次のとおりである。

〔収入の部〕

(単位:千円)

科目	平成23年度 予算額	平成23年度 決算額	差異
1 学生生徒等 納入金収入	4,900,000	4,931,976	△ 31,976
2 手数料収入	170,000	173,520	△ 3,520
3 寄付金収入	53,000	65,619	△ 12,619
4 補助金収入	937,800	974,966	△ 37,166
5 資産運用収入	131,500	111,309	20,191
6 資産売却収入	3,413,285	3,613,285	△ 200,000
7 事業収入	465,200	461,673	3,527
8 雑収入	141,400	154,887	△ 13,487
9 前受金収入	850,300	850,117	183
10 その他の収入	4,825,747	5,122,997	△ 297,250
11 資金収 入 調整 勘 定	△ 953,270	△ 1,132,352	179,082
12 当年度収入合計	14,934,962	15,327,997	△ 393,035
13 前 年 度 繰 越 支 払 資 金	2,334,603	2,334,603	0
収入の部合計	17,269,565	17,662,600	△ 393,035

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

【1. 学生生徒等納付金収入】

大学院学生等の入学者増により、予算対比 32百万円の増となった。

【2. 手数料収入】

予算対比 3百万円の増となった。そのうち、2百万円は大学志願者数の計画対比450人増による入学検定料の増収である。

【3. 寄付金収入】

予算対比 12百万円の増となった。そのうち、特別寄付金の内訳としては、増井光子基金 11百万円、麻布大学父母会 7百万円、大学同窓会・高校同窓会各 3百万円、寄附講座開設を含む企業等の奨学寄附金 33百万円がある。

【4. 補助金収入】

予算対比 37百万円の増となった。主な事項は、震災に伴う学費減免に対する補助金 20百万円と平成22年度大学改革推進等補助金 18百万円の平成23年度入金処理によるものである。

【5. 資産運用収入】

受取利息・配当金収入で、平成23年12月にダイワグローバル債券ファンドを解約したことによる分配金があり、予算対比 20百万円の減となった。

【6. 資産売却収入】

平成22年度購入の外国債が早期償還になったため、予算対比 2億円の増となった。
解約した資産運用の精算額は、ダイワグローバル債券ファンド 9億76百万円、野村SMA 12億38百万円及び大和SMA 11億97百万円である。

【7. 事業収入】

予算対比 3百万円の減となった。主な事項は、小動物の診療件数が伸び悩んだことにより附属事業収入が予算対比で26百万円の減となったことである。なお、企業等からの受託・共同研究が49件あったことにより受託事業収入においては、25百万円の増となった。

【8. 雑収入】

予算対比 13百万円の増となった。主な事項は、研究関連収入である科研費の間接経費が14百万円の増になったことと、自己都合による退職者が2人増えたことにより私立大学退職金財団交付金収入が7百万円の増になったことである。

【10. その他の収入】

予算対比 2億97百万円の増となった。主な事項は、平成22年度購入の外国債が早期償還になったことによる退職給与引当特定預金への繰入収入である。

〔支出の部〕

(単位:千円)

科目	平成23年度 予算額	平成23年度 決算額	差異
1 人件費支出	3,251,600	3,112,861	138,739
2 教育研究 経費支出	1,855,940	1,684,545	171,395
3 管理経費支出	599,450	521,382	78,068
4 借入金 等 支出	68,222	68,125	97
5 借入金 等 支出	111,110	111,110	0

【1. 人件費支出】

予算対比 1億39百万円の減となった。主な事項は、新規採用者の計画未達である。なお、退職金支出では、12百万円予算超過した。

【2. 教育研究経費支出】

予算対比で1億71百万円の減となり、前年度対比でも29百万円の減となった。主な事項は、動物病院の医薬品及び検査委託、教育マップシステム構築の未実施などが支出減となり、全体としても経費節約がみられる。

なお、奨学費において、東日本大震災被災学生に対する授業料の免除により、30百万円予算超過した。

【3. 管理経費支出】

予算対比で78百万円の減となり、前年度対比でも57百万円の減となった。主な事項は、公租公課において、生命・環境科学部棟、麻布獣医学園アリーナ及び特別高圧変電所の建物竣工に伴う消費税の還付により、15百万円の予算減となった。全体としても、各部署の節約執行により、支出減となった。

〔支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成23年度 予 算 額	平成23年度 決 算 額	差 異
6 施設関係支出	1,732,020	1,720,204	11,816
7 設備関係支出	687,003	687,003	0
8 資産運用支出	6,329,447	6,751,226	△ 421,779
9 その他の支出	468,175	310,342	157,833
10 予 備 費	142,727	—	142,727
11 資 金 支 出 定 調 整 勘 定	△ 583,655	△ 470,190	△ 113,465
12 当年度支出合計	14,662,039	14,496,608	165,431
13 次 年 度 繰 越 支 払 資 金	2,607,526	3,165,992	△ 558,466
支出の部合計	17,269,565	17,662,600	△ 393,035

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

【4. 借入金等利息支出】

獣医学部棟建設資金及び生命・環境科学部棟建設資金の借入に対する借入利息 68百万円である。

なお、国庫補助金として、借入利息に対する利子助成 42百万円があった。

【5. 借入金等返済支出】

獣医学部棟建設資金の借入に対する元金返済分(4回目)である。

【6. 施設関係支出】

予算対比 12百万円の減となった。主な事項は、生命・環境科学部棟、麻布獣医学園アリーナ及び特別高圧変電所に係る建設工事(3年目)などである。

【7. 設備関係支出】

「平成22年度大学改革推進等補助金」事業を平成23年度に執行したことにより予算超過となったため、予備費を使用した。

【8. 資産運用支出】

予算対比 4億22百万円の予算超過になった。主な事項は、外国債の購入とそれに係る繰入支出である。

【10. 予備費】

設備関係支出で予備費を使用した。

2. 消費収支計算書の概要

消費収支計算書は、学園の財政状況を表す計算書類であり、当該会計年度の帰属収入、基本金組入額、消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものである。

(1)消費収入の部の概要

帰属収入は、学校法人の負債とされない収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入が含まれる。

消費収入の部には、資金収支計算書とは違い、寄付金に現物寄付金及び基本金組入額が含まれている。

今年度の帰属収入合計は 69億円となり、基本金組入額は、生命・環境科学部棟、麻布獣医学園アリーナ及び特別高圧変電所に係る建設費並びに教育研究用機器備品等の取得による 20億83百万円で、帰属収入から基本金組入額を控除した48億17百万円が消費収入の部の合計となった。

(2)消費支出の部の概要

消費支出の部では、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、人件費、教育研究経費、管理経費等が含まれる。

消費支出の部は、資金収支計算書とは違い、人件費には、退職金に係る調整額として退職給与引当金繰入額及び退職金、教育研究経費及び管理経費には、減価償却額が含まれている。

消費支出の主な事項は、資産運用を行っていたダイワ・グローバル債券ファンド及びSMAを解約したことから、有価証券処分差額が 11億38百万円となったこと、生命・環境科学部棟の竣工に伴い教育研究用機器備品の買換えを行ったことによる処分差額が 34百万円となったこと。生命・環境科学部棟及び麻布獣医学園アリーナ等の竣工に伴い減価償却額 1億3百万円が増になったことなどにより、消費支出の部合計は 74億82百万円となった。

このことから、帰属収入に対して消費支出が 5億81百万円増となり、消費収入の部合計に対しては、26億65百万円の増となった。また、帰属収支差額比率については、マイナス8.4%になった。

〔消費収入の部〕

(単位:千円)

科 目	平成23年度 予算額	平成23年度 決算額	差 異
1 学生生徒等納付金	4,900,000	4,931,976	△ 31,976
2 手 数 料	170,000	173,520	△ 3,520
3 寄 付 金	75,000	92,244	△ 17,244
4 補 助 金	937,800	974,966	△ 37,166
5 資産運用収入	131,500	111,309	20,191
6 事業収入	465,200	461,673	3,527
7 雑 収 入	141,400	154,887	△ 13,487
[A] 帰属収入合計	6,820,900	6,900,575	△ 79,675
[B] 基本金組入額	△ 2,391,930	△ 2,083,469	△ 308,461
[C] 消費収入の部合計 ([A] + [B])	4,428,970	4,817,106	△ 388,136

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔消費支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成23年度 予算額	平成23年度 決算額	差 異
1 人 件 費	3,214,520	3,053,666	160,854
2 教育研究経費	2,656,610	2,577,651	78,959
3 管 理 経 費	678,807	601,539	77,268
4 借入金等利息	68,222	68,125	97
5 資産処分差額	1,138,054	1,180,177	△ 42,123
6 徴収不能引当金 繰 入 額	0	1,312	△ 1,312
7 予 備 費	100,000	—	100,000
[D] 消費支出の部合計	7,856,213	7,482,470	373,743

【3. 寄付金】

現物寄付金は、物品を金額に換算して計上する。教員からの科研費等で購入した備品 120万円、父母会からテーブル・椅子 330万円、高校後援会から麻布獣医学園アリーナ用映像装置一式 340万円、図書 300万円の寄贈があった。

【[B]. 基本金組入額】

学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして、帰属収入のうちから組入れた金額である。

基本金には、第1号基本金から第4号基本金まで、4種類の基本金がある。

①第1号基本金:施設設備の整備拡充のために要した金額であり、平成23年度の組入額は、20億83百万円を組み入れた。

②第4号基本金:恒常的な資金の維持のための基本金であり、平成22年度における消費支出の部の合計金額から退職給与引当金繰入額及び減価償却額を除く金額を12で割った1月分の相当額を設定することとなっているが、本年度は組入を行わない。

【1. 人件費】

人件費のうちの退職給与引当金繰入額は、教職員の退職時に支給する退職金に備えるために繰入している。消費収支計算書の退職金は、退職者に支給される退職金(資金収支計算書退職金支出)から、退職者の退職給与引当金を差引いた額である。

【5. 資産処分差額】

ダイワグローバル債券ファンド及びSMA解約時の時価評価額と簿価の差額 11億38百万円並びに教育研究用機器備品などの除却による処分差額である。

【6. 徴収不能引当金繰入額】

動物病院の診療収入における過年度分の未収入金額のうち、徴収不能になりうる額を引当金として繰り入れている。

〔消費支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成23年度 予算額	平成23年度 決算額	差 異
当 年 度 消費支出超過額	3,427,243	2,665,365	761,878
前 年 度 繰 越 消費支出超過額	3,728,846	3,728,846	0
翌 年 度 繰 越 消費支出超過額	7,156,089	6,394,211	761,878

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔収支差額〕

(単位:千円)

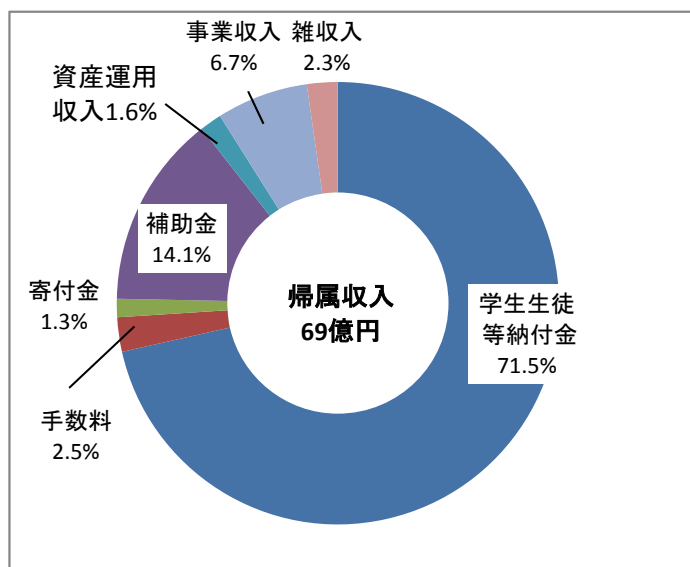
[E]	帰属収支差額 ([A] - [D])	△ 1,035,313	△ 581,895	△ 453,418
[F]	帰属収支差額比率 ([E] / [A])	△ 15.2%	△ 8.4%	△ 6.8%
[G]	消費収支差額 ([C] - [D])	△ 3,427,243	△ 2,665,364	△ 761,879

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

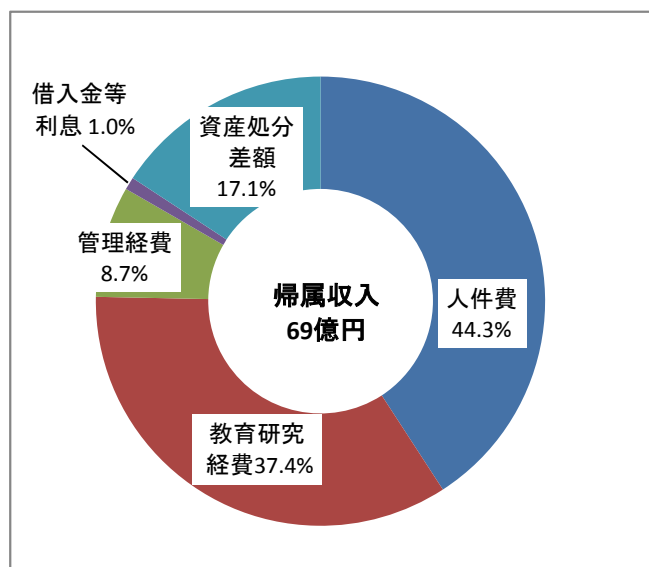
【収支差額】

消費収支差額[G]:消費収支計算書における収支の均衡状態は、26億65百万円の支出超過になった。

帰属収入の構成比率



帰属収入に対する消費支出の構成比率



《H23年度帰属収入決算額及び構成比率》

(単位:千円)

科 目	決算額	構成比率
学生生徒等納付金	4,931,976	71.5%
手 数 料	173,520	2.5%
寄 付 金	92,244	1.3%
補 助 金	974,966	14.1%
資産運用収入	111,309	1.6%
資産売却差額	0	0.0%
事 業 収 入	461,673	6.7%
雑 収 入	154,887	2.3%
帰属収入合計	6,900,575	100.0%

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

《H23年度帰属収入に対する消費支出の構成比率》

(単位:千円)

科 目	決算額	構成比率
人 件 費	3,053,666	44.3%
教育研究経費	2,577,651	37.4%
管 理 経 費	601,539	8.7%
借入金等利息	68,125	1.0%
資産処分差額	1,180,177	17.1%
徴収不能引当金繰入額	1,312	0.0%
消費支出合計	7,482,470	108.5%

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

3. 貸借対照表の概要

貸借対照表は、年度末(平成24年3月31日現在)における学校法人の財政状態を示す計算書類である。

資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産であり、負債とは、その財産の調達先のうち、将来返済しなければならない債務である。基本金と消費収支差額は、調達資金のうち法人外部へ返済の必要のない、学校法人に完全に帰属する資金総額であり正味財産(自己資本)と称されている。

平成23年度の主要事項は、生命・環境科学部棟、麻布獣医学園アリーナ及び特別高圧変電所に係る建設費並びに教育研究用機器備品等の取得に伴う有形固定資産 13億60百万円と第1号基本金 20億83百万円が増加した。その他の固定資産は、建設費の支払に伴う特定預金の取崩しと、ダイワ・グローバル債券ファンド及びSMAの解約に伴う資産の減少と特定預金への繰入をしたことなどにより、29億54百万円が減少した。流動資産は、ダイワ・グローバル債券ファンドの解約に伴う一般支払資金などにより10億28百万円が増加したなどである。

〔資産の部〕 (単位:千円)

科 目	平成23年度 決算額	平成22年度 決算額	増 減
1 固 定 資 産	26,481,195	28,074,621	△ 1,593,426
有形固定資産	20,664,158	19,303,388	1,360,770
その他の 固定資産	5,817,037	8,771,233	△ 2,954,196
2 流 動 資 産	3,451,759	2,423,843	1,027,916
3 資産の部合計	29,932,954	30,498,464	△ 565,510

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔負債の部〕 (単位:千円)

科 目	平成23年度 決算額	平成22年度 決算額	増 減
6 固 定 負 債	5,333,176	5,452,822	△ 119,646
7 流 動 負 債	1,483,663	1,347,632	136,031
8 負債の部合計	6,816,839	6,800,454	16,385

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔基本金の部〕 (単位:千円)

科 目	平成23年度 決算額	平成22年度 決算額	増 減
9 第 1 号 基 本 金	29,058,326	26,974,856	2,083,470
10 第 4 号 基 本 金	452,000	452,000	0
11 基本金の部合計	29,510,326	27,426,856	2,083,470

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔消費収支差額の部〕

(単位:千円)

科 目		平成23年度 決算額	平成22年度 決算額	増 減
12	翌年度繰越 消費支出超過額	6,394,211	3,728,846	2,665,365
13	消費収支差額の部 合計	6,394,211	3,728,846	2,665,365

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

(単位:千円)

科 目		平成23年度 決算額	平成22年度 決算額	増 減
14	負債の部・基本金 の部及び消費収 支差額の部合計	29,932,954	30,498,464	△ 565,510

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

4. 財産目録について

財産目録は、財産である資産と負債の内容を明らかにし、正味財産を表した書類である。

平成23年度の資産総額 299億33百万円には、土地、建物、構築物及び備品等の基本財産 206億64百万円と各種の特定預金及び特定資産等の運用財産 92億68百万円が含まれている。この資産総額から、長期借入金及び退職給与引当金等の負債総額 68億16百万円を差し引いた 231億16百万円が正味財産である。